

**平成29年度**  
**事務事業別予算概要書**

**(下水道部関係)**



平成29年度事務事業シート(計画)目次

大綱	目標	施策	事務事業番号	事務事業名	所属名	掲載ページ
<b>第2節 安全で安心な暮らしを地域で支えあうまち ー安心づくりー</b>						
		<b>③災害や犯罪などのリスクに強い安全なまち</b>				
		<b>2-8 自然災害に強いまちづくりの推進</b>				
		208	16	公共下水道事業(雨水)	下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課	..... 1
<b>第3節 環境と調和した生活しやすいまち ー快適づくりー</b>						
		<b>①魅力ある住環境の整ったまち</b>				
		<b>3-5 快適な市民生活を支える汚水処理の推進</b>				
		305	3	公共下水道事業(汚水)	下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課	..... 2
		305	4	特定環境保全公共下水道事業	下水道管理課・下水道施設課	..... 3
		305	5	農業集落排水事業	下水道管理課・下水道施設課	..... 4

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	208 - 16	新規・継続	継続
事務事業名	公共下水道事業(雨水)	下水道事業会計			混在
所 属	下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課			<b>総合計画施策体系</b>	2 - 8

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

<b>目的</b> (何のために)	市街地において、豪雨時の道路の冠水や河川・排水路の溢水による浸水被害から市民の生命、身体及び財産を守るため、浸水対策施設を整備し、自然災害に強いまちづくりを推進する。						
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	西条排水区及び寺家排水区において浸水被害を被る住民等						
<b>事業の概要及びH29活動計画</b>	<p><b>災害に強い下水道の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水対策施設の機能を維持するため、適正な維持管理を行う。</li> <li>・市街地における効率的かつ総合的な浸水対策の実施を図るため、雨水管理総合計画を策定する。</li> <li>・西条排水区の西条1号雨水幹線の枝線管渠の建設工事及び実施設計等並びに寺家排水区の西条第二地区における事業計画を策定する。</li> </ul> <p><b>【収益的支出 11,738千円】</b></p> <p>(1) 管渠・ポンプ場管理(11,738千円)</p> <p><b>【資本的支出 85,000千円】</b></p> <p><b>【新】</b>(1) 雨水管理総合計画策定業務(16,751千円)                  (2) 雨水管渠実施設計業務(28,249千円)                  (3) 雨水管渠建設工事(40,000千円)</p>						
<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績)</b>	<b>28年度(目標)</b>	<b>29年度(目標)</b>		
	整備延長累計(西条・寺家排水区)	m	1,120	1,210	1,231		
<b>成果目標</b> (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	雨水浸水対策事業は、雨水排水管路等の対策施設の完成・供用によって事業効果が得られるため、事業を実施する西条及び寺家排水区の管路等の整備率(整備延長累計/全体計画延長)を指標とする。また、施設整備を行っている西条排水区においては、直接的な整備効果指標である床上浸水被害戸数を指標に加える。						
<b>成果指標</b> (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績値)</b>	<b>28年度(目標値)</b>	<b>29年度(目標値)</b>	<b>30年度(目標値)</b>	<b>一年度(目標値)</b>
	整備率(延長ベース) (西条・寺家排水区)	%	25	27	28	—	—
	床上浸水被害戸数 (西条排水区)	戸	0	0	0	—	—

## 3 コスト情報

※平成28年度から公営企業会計に移行

	27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
収益的収入	- 千円	274,058 千円	263,000 千円	千円
収益的支出	- 千円	274,058 千円	263,000 千円	千円
差引	- 千円	0 千円	0 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	- 千円	1,419 千円	873 千円	千円
資本的収入	- 千円	50,400 千円	58,067 千円	千円
資本的支出	- 千円	172,212 千円	155,756 千円	千円
差引	- 千円	△ 121,812 千円	△ 97,689 千円	千円

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号	305 - 3	新規・継続	継続
<b>事務事業名</b>	公共下水道事業(汚水)	下水道事業会計		混在
<b>所 属</b>	下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課		<b>総合計画施策体系</b>	3 - 5

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

<b>目的</b> (何のために)	生活環境の向上と河川や海域等の公共用水域の水質保全のため、市街地における生活排水等の汚水処理施設の整備を図り、安全で快適な生活環境を形成する。												
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	公共下水道事業計画区域内の住民等 東広島処理区、黒瀬処理区、安芸津処理区、沼田川処理区(入野処理分区分を除く)												
<b>事業の概要 及び H29活動計画</b>	<p>1 下水道経営の健全化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道事業経営戦略により計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">経営分析指標</th> <th style="text-align: center;">28年度(当初)</th> <th style="text-align: center;">29年度(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100</td> <td style="text-align: center;">101.9%</td> <td style="text-align: center;">104.5%</td> </tr> <tr> <td>経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100</td> <td style="text-align: center;">91.6%</td> <td style="text-align: center;">110.6%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>処理場、ポンプ場等の適正な運転・維持管理を行うとともに、維持管理費の抑制を図る。</li> <li>使用料等の効率的な賦課徴収事務と早期の滞納整理により、収納率の向上を図る。</li> <li>排水設備工事に係る事務を行うとともに、下水道の普及促進を図る。</li> </ul> <p><b>【収益的支出 1,078,106千円】</b></p> <p>(1) 処理場管理(869,176千円)</p> <p>(2) 管渠・ポンプ場管理(107,093千円)</p> <p>(3) 使用料徴収事務委託(101,837千円)</p> <p><b>【資本的支出 10,000千円】</b>(1) 水洗便所改造資金貸付金(10,000千円)</p> <p>2 計画的、効率的な施設の建設と更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道法の改正及び下水道未普及解消整備計画に基づき公共下水道事業計画の変更を行うとともに、汚水管渠等の整備を促進する。</li> <li>処理場施設を計画的に建設するとともに、老朽化施設については、長寿命化計画に基づく改築を行い施設の健全化を図る。</li> </ul> <p><b>【資本的支出 2,242,785千円】</b></p> <p>(1) 下水道事業計画図書等策定業務(東広島・黒瀬・安芸津・沼田川処理区)(41,185千円)</p> <p>(2) 汚水管渠基本設計業務(御園宇・八本松西・小谷・乃美尾地区)(51,000千円)</p> <p>(3) 汚水管渠実施設計業務(217,800千円)</p> <p>(4) 汚水管渠建設・ポンプ設備設置工事(1,232,000千円)</p> <p>(5) 工事負担金(寺家・檜原地区)(88,000千円)</p> <p>(6) 長寿命化対策(東広島浄化センター汚泥脱水機更新等)(612,800千円)</p> <p>3 災害に強い下水道の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現行の耐震基準に適合していない既存の下水道施設の耐震化を図る。</li> </ul> <p><b>【資本的支出 78,500千円】</b>(1) 処理場・ポンプ場耐震化実施設計業務(78,500千円)</p>				経営分析指標	28年度(当初)	29年度(当初)	経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	101.9%	104.5%	経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	91.6%	110.6%
経営分析指標	28年度(当初)	29年度(当初)											
経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	101.9%	104.5%											
経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	91.6%	110.6%											
<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績)</b>	<b>28年度(目標)</b>	<b>29年度(目標)</b>								
	新規供用開始面積	ha	47	50	50								
<b>成果目標</b> (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	事務事業の目的の直接的な成果指標である公共下水道人口普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)を指標とする。												
<b>成果指標</b> (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度 (実績値)</b>	<b>28年度 (目標値)</b>	<b>29年度 (目標値)</b>	<b>30年度 (目標値)</b>	<b>32年度 (目標値)</b>						
	公共下水道人口普及率 (特定環境保全公共下水道を含む)	%	42.7	43.8	44.8	達成率	47.9						

## 3 コスト情報

※平成28年度から公営企業会計に移行

	27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
収益的収入	- 千円	4,084,395 千円	4,344,621 千円	千円
収益的支出	- 千円	4,263,449 千円	4,048,633 千円	千円
差引	- 千円	△ 179,054 千円	295,988 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	- 千円	△ 285,127 千円	176,437 千円	千円
資本的収入	- 千円	2,125,460 千円	2,506,007 千円	千円
資本的支出	- 千円	3,566,893 千円	4,081,954 千円	千円
差引	- 千円	△ 1,441,433 千円	△ 1,575,947 千円	千円

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号	305 - 4	新規・継続	継続
<b>事務事業名</b>	特定環境保全公共下水道事業 下水道事業会計			混在
<b>所 属</b>	下水道管理課・下水道施設課		<b>総合計画施策体系</b>	3 - 5

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

<b>目的</b> (何のために)	市街化区域以外の区域における生活排水を処理し、河川等の公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図る。													
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	特定環境保全公共下水道事業計画区域内の住民等 福富処理区、豊栄処理区、沼田川処理区(入野処理分区)													
<b>事業の概要及びH29活動計画</b>	<p>1 下水道経営の健全化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道事業経営戦略により計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">経営分析指標</th> <th style="text-align: center;">28年度(当初)</th> <th style="text-align: center;">29年度(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 = (経常収益/経常費用)×100</td> <td style="text-align: center;">70.7%</td> <td style="text-align: center;">72.5%</td> </tr> <tr> <td>経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く))×100</td> <td style="text-align: center;">22.3%</td> <td style="text-align: center;">20.8%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>処理場、マンホールポンプ等の適正な運転・維持管理を行うとともに、維持管理費の抑制を図る。</li> <li>使用料等の効率的な賦課徴収事務と早期の滞納整理により、収納率の向上を図る。</li> </ul> <p><b>【収益的収支 102,833千円】</b></p> <p>(1) 処理場管理(86,348千円)                  (2) 管渠・ポンプ場管理(15,248千円)                  (3) 使用料徴収事務委託(1,237千円)</p> <p>2 計画的、効率的な施設の建設と更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道法の改正に基づき公共下水道事業計画の変更を行う。</li> <li>処理場施設を計画的に建設するとともに、老朽化施設については、長寿命化計画に基づく改築を行い施設の健全化を図る。</li> </ul> <p><b>【資本的支出 38,210千円】</b></p> <p>(1) 下水道事業計画図書等策定業務(福富・豊栄処理区、入野処理分区)(7,210千円)                  (2) 長寿命化対策(福富浄化センター長寿命化実施設計等)(13,000千円)                  (3) 汚泥脱水設備実施設計業務(福富浄化センター・豊栄浄化センター)(18,000千円)</p> <p>3 災害に強い下水道の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現行の耐震基準に適合していない既存の下水道施設の耐震化を図る。</li> </ul> <p><b>【資本的支出 24,000千円】</b></p> <p>(1) 処理場耐震化実施設計業務(24,000千円)</p>					経営分析指標	28年度(当初)	29年度(当初)	経常収支比率 = (経常収益/経常費用)×100	70.7%	72.5%	経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く))×100	22.3%	20.8%
経営分析指標	28年度(当初)	29年度(当初)												
経常収支比率 = (経常収益/経常費用)×100	70.7%	72.5%												
経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く))×100	22.3%	20.8%												
<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績)</b>	<b>28年度(目標)</b>	<b>29年度(目標)</b>									
	普及促進活動対象戸数	戸	180	100	100									
<b>成果目標</b> (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	普及促進活動の直接的な成果である新規下水道接続戸数を指標とする。													
<b>成果指標</b> (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>27年度(実績値)</b>	<b>28年度(目標値)</b>	<b>29年度(目標値)</b>	<b>30年度(目標値)</b>	<b>一年度(目標値)</b>							
	新規接続戸数	戸	31	10	10		-							

## 3 コスト情報

※平成28年度から公営企業会計に移行

	27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
収益的収入	- 千円	175,042 千円	187,632 千円	千円
収益的支出	- 千円	256,481 千円	263,740 千円	千円
差引	- 千円	△ 81,439 千円	△ 76,108 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	- 千円	△ 76,728 千円	△ 70,382 千円	千円
資本的収入	- 千円	74,450 千円	112,792 千円	千円
資本的支出	- 千円	74,450 千円	112,792 千円	千円
差引	- 千円	0 千円	0 千円	千円

# 平成 29 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	305 - 5	新規・継続	継続
事務事業名	農業集落排水事業	下水道事業会計			ソフト
所 属	下水道管理課・下水道施設課			総合計画施策体系	3 - 5

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	農業振興地域における生活排水を処理し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持および農村生活環境の改善を図る。													
対 象 (誰・何を対象に)	農業集落排水処理区域内の住民等 志和堀地区、板城地区、保田地区、大内原地区													
事業の概要 及び H29活動計画	<p><b>下水道経営の健全化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業経営戦略により計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">経営分析指標</th> <th style="text-align: center;">28年度(当初)</th> <th style="text-align: center;">29年度(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 = (経常収益/経常費用)×100</td> <td style="text-align: center;">81.4%</td> <td style="text-align: center;">80.6%</td> </tr> <tr> <td>経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く))×100</td> <td style="text-align: center;">33.8%</td> <td style="text-align: center;">38.3%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場、マンホールポンプ等の適正な運転・維持管理を行うとともに、維持管理費の抑制を図る。</li> <li>・使用料等の効率的な賦課徴収事務と早期の滞納整理により、収納率の向上を図る。</li> <li>・排水設備工事に係る事務を行うとともに、農業集落排水の普及促進を図る。</li> </ul> <p><b>【収益的支出 110,900千円】</b></p> <p>(1) 処理場管理(91,843千円)</p> <p>(2) 管渠・ポンプ場管理(16,311千円)</p> <p>(3) 使用料徴収事務委託(2,746千円)</p> <p><b>【資本的支出 2,000千円】</b></p> <p>(4) 水洗便所改造資金貸付金(2,000千円)</p>					経営分析指標	28年度(当初)	29年度(当初)	経常収支比率 = (経常収益/経常費用)×100	81.4%	80.6%	経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く))×100	33.8%	38.3%
経営分析指標	28年度(当初)	29年度(当初)												
経常収支比率 = (経常収益/経常費用)×100	81.4%	80.6%												
経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く))×100	33.8%	38.3%												
														
	<p>板城地区農業集落排水処理施設 処理能力519m<sup>3</sup>/日最大 平成14年4月供用開始</p>													
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)									
	普及促進活動対象戸数	戸	22	150	150									
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	普及促進活動の直接的な成果である新規下水道接続戸数を指標とする。													
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	達成率	30年度 (目標値)	一年度 (目標値)					
	新規接続戸数	戸	7	10	10			-						

## 3 コスト情報

※平成28年度から公営企業会計に移行

	27年度(決算)	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(予算)
収益的収入	- 千円	216,096 千円	203,639 千円	千円
収益的支出	- 千円	276,628 千円	256,351 千円	千円
差引	- 千円	△ 60,532 千円	△ 52,712 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	- 千円	△ 55,189 千円	△ 48,100 千円	千円
資本的収入	- 千円	66,807 千円	68,351 千円	千円
資本的支出	- 千円	66,807 千円	68,351 千円	千円
差引	- 千円	0 千円	0 千円	千円